

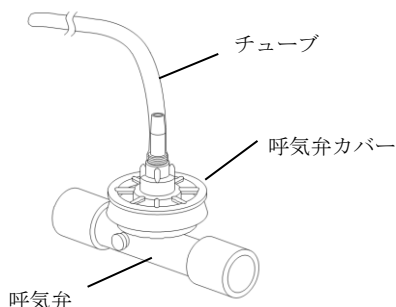
## \* スマートベンチレータ Vivo 50 / スマートベンチレータ Vivo 60 / スマートベンチレータ Vivo 65 の付属品 呼吸弁

### 【禁忌・禁止】

- ・使用前、使用中及び使用後には適切な点検を行うこと。
- ・点検や使用中に異常が認められたときは使用を中止し、適切な処置を行うこと。[患者の安全確保のため]

### 【形状・構造及び原理等】

[形状]



材質: シリコンゴム、ポリカーボネート、ポリプロピレン  
呼吸回路の定格流量: 150L/min.,  $\leq 0.2$ kPa

### 【使用目的又は効果】

呼吸管及び装置本体の取扱説明書、添付文書も参照すること。

### 【使用方法等】

1. 呼吸管をサイドパネルの空気吹き出し口に接続する。パケテリアフィルタを使用する場合は呼吸管と空気吹き出し口の間に取り付ける。
2. 呼吸管の反対側に呼吸弁を取り付ける。
3. 圧制御用のチューブを呼吸弁のメンブレンニップルに取り付ける。
4. チューブをサイドパネルの呼吸弁調整圧導出口に取り付ける。

呼吸管及び装置本体の取扱説明書、添付文書も参照すること。

### 【使用上の注意】

〈基本的な注意事項〉

- ・使用する前に呼吸管及び装置本体の取扱説明書及び添付文書を読み、内容を充分理解して使用すること。
- ・異常が認められる場合は使用しないこと。
- ・直射日光が当たる場所には置かないこと。
- ・使用する前に呼吸弁の確認を行うこと。[塞がっていると窒息する恐れがある]
- ・フルフェイスマスクを使用する場合は、必ず安全弁を使用すること。又、使用前に動作を確認すること。[塞がっていると窒息する恐れがある]
- ・呼吸管をベッドの上に放置しないこと。[寝ている時に頭や首に巻き付くことがある]
- ・装置が停止している場合は、患者から呼吸回路を取り外すこと。[塞がっていると窒息する恐れがある]
- ・呼吸管内部に水が貯留した場合はこれを取り除くこと。
- ・酸素療法装置からの呼吸管を呼吸回路に接続している場合は、装置を停止させる前に酸素療法装置からの呼吸管を外して装置を停止させること。引き続き酸素療法を行う場合は、装置を呼吸回路から外した後、再度行うようにすること。[装

置内部や呼吸回路中に酸素が充満し、火災の原因となることがある]

- ・廃棄する場合は地域の環境規制に従い行うこと。

### 【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- ・直射日光の当たる場所で保管しないこと。
- ・ほこり等のない場所に保管すること。

〈推奨使用期間〉

- ・6ヶ月

### 【保守・点検に係る事項】

- ・新しい患者への使用前には必ず滅菌するか新しいセットを使用すること。チューブは新しいものを使用すること
- ・チューブに水が入らないよう注意すること。チューブ内の洗浄は不要。

〈洗浄〉

- ・呼吸弁カバーとチューブを取り外す。  
(呼吸弁カバーとチューブに水が混入すると誤作動の原因となるため必ず取外すこと)
- ・中性洗剤を入れたぬるま湯に浸す。
- ・ブラシなどで汚れを落とす。
- ・ぬるま湯でよくすすぐ。
- ・水分を拭き取るなどして、十分に乾燥させる。

〈消毒〉

- ・次の消毒液が使用できる。  
Aniosyme  
Gigasept®FF  
Steranios  
Sporox®II
- ・消毒の前後は水で十分にすすぐこと。
- ・チューブは消毒しないこと。

〈滅菌〉

- オートクレーブ 126°C 15分 20回まで
- ・チューブは滅菌できない。

〈処置後〉

- ・必ず劣化等が見られないことを確認すること。

呼吸管及び装置本体の取扱説明書、添付文書も参照すること。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: チェスト株式会社  
TEL: 03-3813-7200

製造業者: Breas Medical AB  
スウェーデン